

施策マネジメントシート(平成25年度の振り返り、総括)

作成日 平成 26 年 6 月 20 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	地域整備課
				課長	石田 洋一
施策	12	道路の雪対策の推進	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
①町内の道路利用者		①冬期間において、安全に道路を利用できる。	1 冬期間の通行の確保	町内の道路利用者	冬期間において、通行に支障のない道路が提供される。
			2 冬期間の安全運転の推進	車両運転者	冬季間における交通事故が減少する。
			3		
			4		
			5		

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				A	冬期間における交通事故発生件数	件	実績値 273	263	263	
	B 雪による通行止め件数	件	実績値	0	0	2				
			目標値		0	0	0	0	0	0
	C 除雪等に関する情報・苦情件数	件	実績値	60	34	466				
			目標値		50	45	40	35	30	25
	D		実績値							
			目標値							
	E		実績値							
			目標値							
	F		実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。ただし、降雪量などの気象条件の影響が大きいことに注意が必要である。
沼田警察署の資料による

B) 通行止めが発生すると、安全に道路が利用できているとはいえないため成果指標とした。
主管課で実数を把握

C) 情報・苦情の中でも苦情については道路状況に於いて不快・不便を感じたものであり道路の維持管理が適切に行われていないため成果指標とした。ただし、降雪量などの気象条件の影響が大きいことに注意が必要である。
主管課で実数を把握

目標値設定の考え方

A) 成り行きでは、過去4年間(H20～H23)の平均値とする。徐々に減らしていくといった数値ではないのでH25から毎年200件以下を目指す。

B) 雪による通行止めは0件をめざす。

C) 処理能力の高い除雪機械の導入すると共に、冬季職員の経験・技術等の育成に努め、町民のニーズに合った作業を行う。除雪及び排雪等を迅速に行える様にし、除雪に対する苦情件数を減少させる(過去の経緯から、件数はばらつきがあるが平均値として50件を基準と設定)。毎年度5件ずつ減少させ、半数となる25件をめざす。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①住宅周りの雪を処理する。 ②地域ぐるみで除雪態勢を考え、地域除雪に協力する。 ③雪道の特性を理解した運転に心掛ける。	①降雪状況を把握して安全で迅速な作業(除雪、融雪剤、凍結防止剤散布等)をする。 ②除雪作業に必要な協力の呼びかけ(PR、広報)地域除雪に対して支援を行う。 ③危険箇所の周知看板等の設置・点検・修繕を行う。 ④ホームページ等を活用した情報提供を行う。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	2月に全国的な豪雪に見舞われ、通常の除雪体制では限界があった。これを教訓に現在国が中心となり国、NEXCO、県、市町村等の関係機関で除雪協議会(仮称)を設置し、大雪時は道路管理者が連携して、対応がとれるよう協議する予定である。	①除雪に関して不満を抱く町民の割合は約6割と高い。 ②町の特性として、冬期間常時積雪がある地区よりも、降雪量の少ない地区の住民から異常気象による一時的な豪雪に対して苦情が集中することがある。 町民アンケートによると、除排雪に対する不満の具体的内容は、①除雪対応が遅い51.8%②除雪状態が悪い46.2%、③除雪した雪の処理が不十分43.5%、の順となっており、町が行う除雪に対する意見であるが、④では雪を捨てる場所がない31.0%と住民自らが除雪に対する意見になっている。

施策	12	道路の雪対策の推進	主管課	名称	地域整備課
				課長	石田 洋一

		実績比較	背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>① 冬季の交通事故発生件数は、平成20年度102件、平成21年度241件、平成22年度190件、平成23年度273件、平成24年度263件、平成25年度263件となった。事故件数の50%は水上地域で発生し、その約60%が大穴以北で発生している。また、人身事故29件の52%に当たる15件を町内在住者が占めている。雪道に対する認識不足(スピードの出し過ぎ、雪用タイヤの過信等)が要因と考えられる。</p> <p>② 雪による通行止め件数は平成21年度2件あったものの、平成22年度以降は0件が続いていたが、平成25年度2月の豪雪時に町道2件、県道に於いても雪崩による交通止めが2件発生した。</p> <p>③ 除排雪に不満を抱く町民の割合は、平成22年度64.3%、平成23年度60.0%、平成24年度58.6%、平成25年度65.9%と増加している。地区別に見ると、月夜野地区が69.9%と最も高く、水上地区65.5%、新治地区60.1%となっている。不満の内容を地区別に見ると、月夜野地区で「除雪状態が悪い」、「対応が遅い」、「不公平感がある」の割合が高くなっており、水上地区では「雪を捨てる場所がない」が高い割合となっている。平成25年度降雪量は例年並みではあったものの2月の豪雪により不満を抱く町民の割合が増加したと考えられる。また、豪雪により除雪に対する町民の意識が高くなっていることが今回のアンケートからうかがえる。</p>
	② 他団体との比較	<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> まぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>① 除雪対象路線延長、除雪費用は県内トップクラスで、豪雪の地域指定を受けており、降雪量も同様である。</p> <p>② 市町村によって気温などの気象や路線などの条件が異なるため、それぞれに適した方法により除雪・消雪処理を行っている。</p> <p>・当町は、面積が広く場所によって条件が大きく異なるため、地域ごとに基準を設定し降雪時の出勤態勢を確立している。また、町の一般職員が除雪対応している市町村は少ない。なお今年度より気象観測システムを導入し、町内13ヶ所にライブカメラを設置し町のホームページで公開している。また、除雪車の効率的な運用を行うため除雪管理システムの導入を検討している。</p> <p>・片品村では、散水消雪施設はほとんどなく、除雪による対応である。</p> <p>・湯沢町では、地下水があり気温も高く、ほとんど散水消雪施設で対応している。</p> <p>・沼田市は幹線道路が対象で坂道には無散水・散水消雪対応しておりその他の路線においては除雪対応である。</p>
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> まぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	<p>① 冬季間の交通事故発生件数は、平成24年度では目標値を下回っている。</p> <p>② 除雪等に関する情報・苦情件数は激増したが、2月の記録的な豪雪により苦情・情報の件数が一時的に集中したことが原因と考えられる。</p> <p>③ 通行止め区間についても平成22年以降0件で推移していたが、今年度雪崩による通行止め区間が町道関係で2ヶ所、県道関係で2ヶ所発生した。</p>
前年度の取り組み(事務事業)の総括		<p>① 除雪機械購入事業で水上地区に13t級ドーザの更新配備を行った。機械能力の向上により作業効率が特段向上した。</p> <p>② 除雪の出動判断を業者任せにせず細かく実施したことで、除雪経費の節減につながった。</p> <p>③ 無散水の施設の電源の入り切りをこまめにより、電気代の節約に取り組んだが、昨年度よりも稼働日数の増加により節減につながらなかった。</p> <p>④ 地域除雪支援体制が整いローダー、手押し小型除雪ロータリ(計5台)で、4地域(湯原地区・師田地区・羽場地区・猿ヶ京温泉地区)に貸し出しなどを行った。</p> <p>⑤ 除雪機械購入事業で更新を行った除雪機械の管理替えにより委託業者に貸与し、委託費を節減させた。また、除雪機械の所有が困難な業者に貸与することで、受託業者を確保することができた。</p> <p>全体的に12月～1月の降雪量は水上北部を除き昨年度の半分以下であったが、2月には二度に渡る南岸低気圧の通過による記録的な大雪に見舞われ、一時的に苦情等が増したがこれを教訓に除雪関係機関と連携した除雪体制を構築したい。</p> <p>⑥ ライブカメラ設置事業を行い、町内の降雪、積雪状況や降雨量をリアルタイムに情報発信が行える整備を実施した。ホームページアクセス11,276件/月(冬季4ヶ月間)</p>	

		基本事業名	今後の課題	次年度の取り組み方針(案)
今後の課題と次年度の取り組み方針(案)	1	冬期間の通行の確保	① きめ細やかな除雪体制の構築 ② 地域支援除雪の体制整備の拡大 ③ 地域間連携除雪体制整備 ④ 除雪機械の効果的な更新	① 平成27年12月から中期除雪計画(5カ年計画)の作成に基づいた取り組みを開始する。 ② 現在4地区ある地域支援除雪地区を5地区にする。 ③ 水上地区以南の大雪時(大雪)の地域間連携体制を構築する ④ 社会資本総合整備交付金事業を活用し、除雪機械を計画的に更新していく。
	2	冬期間の安全運転の推進	① 路面状況・除雪作業状況の情報提供 ② 融雪施設の効果的な運用方法の研究 ③ 融雪施設の更新	① 気象情報システム、除雪車情報管理システム(仮称)の導入に伴い、町のホームページは元より、スマートフォン・タブレット等でリアルタイムの情報を提供する。 ② 融雪施設区間を再検証し電気料の契約等の見直しを行う。また、稼働方法等効果的な運用方法の研究を行う。 ③ 効率の悪い融雪施設の改修及び更新を計画的に進める。
	3			
	4			
	5			

12 道路の雪対策の推進

12-01-000001 道路除排雪事業				担当組織 地域整備課 除雪センターグループ				事業費 139,705,426円						
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 2道路橋梁費				目 5除雪費						
事業概要	対象	除雪			意図	除雪に必要な委託業者への依頼及び直営除雪の人員を確保し安全に除雪作業を進める。			手段	冬季臨時職員10名雇用みなかみ北部の直営除雪及び塩カル散布・破損箇所修繕業者委託業務支援除雪の拡大				
	臨時職員の作業日数	平成24年度	平成25年度	単位		除雪作業員の人数	平成24年度	平成25年度		単位	臨時職員の作業日数	平成24年度	平成25年度	単位
			90	79	日			8	10	数		90	79	日
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括		少ない経費で、効率の良い作業を心がける。			今後の改革改善案		現状維持		課題とその解決策		経費削減。		

12-01-000002 除雪機・除雪車等維持管理事業				担当組織 地域整備課 除雪センターグループ				事業費 37,698,255円						
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 2道路橋梁費				目 5除雪費						
事業概要	対象	除雪使用機械			意図	冬季除雪に必要な機械を確保する			手段	水上管内13t級車1台(補助機械更新)水上管内3t級1台購入(単独)リース車輛2台 3t級・3t級				
	町所有機械台数	平成24年度	平成25年度	単位		町使用機械台数	平成24年度	平成25年度		単位	購入機械数	平成24年度	平成25年度	単位
			33	42	台			36	21	台		2	2	台
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括		道路除雪の充実とは冬期間の住民生活の根幹を担う物であり、そのための機械購入(維持更新)は、代表的な事業施策であり充実させるべきものである。			今後の改革改善案		概ね現行どおり		課題とその解決策		補助事業への該当車両は限られる事から、単独事業費を用いた計画的な安定確保が課題である。委託内容と直営対応内容を、長期的視野で検討して使用機械の整備目標(計画)を定めることが望ましい。		

12-01-000004 消融雪施設維持管理事業				担当組織 地域整備課 除雪センターグループ				事業費 83,848,590円						
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 2道路橋梁費				目 5除雪費						
事業概要	対象	消雪・融雪施設			意図	施設が正常に稼働する			手段	散水消雪10箇所、無散水施設35箇所の町施設。群馬県の施設を共有する10消雪施設の稼働				
	施設設置道路延長	平成24年度	平成25年度	単位		不動施設数	平成24年度	平成25年度		単位	散水施設箇所数	平成24年度	平成25年度	単位
			10,961	10,961	m			1	1	箇所		10	10	箇所
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括		稼働施設の増加に伴い、経常経費の高騰化が進む			今後の改革改善案		気象条件の関係で稼働時間は増えているが、手動にて操作しているため、電気料の抑制につながっている。		課題とその解決策		現状維持		

12 道路の雪対策の推進

12-01-000005				担当組織 地域整備課 除雪センターグループ				事業費		円	
地域除雪支援事業				予算科目 会計 一般		款 8土木費		項 2道路橋梁費		目 5除雪費	
事業概要	対象	実施地域の道路及び歩道数		意図	安全な路面状態を確保する			手段	地域支援除雪貸出業務（羽場・師田・猿ヶ京温泉・湯原温泉公園）ミニロータリー4t級 3台 手押し式ロータリー除雪機2台		
		実施要望地域数	平成24年度 4 平成25年度 4 単位 箇所			実施地域数	平成24年度 4 平成25年度 4 単位 箇所			支援除雪車台数（ロータリー）	平成24年度 3 平成25年度 3 単位 台
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト	
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果	削減 維持 増加
全体総括	他地域への拡充を前提にした運用要綱の精査制定が急務となる			今後の改革改善案	広く町民に地域支援事業を広め地域活動の輪を広める。			課題とその解決策	必要な機材の取得・手配と協力地域に本事業趣旨を正しく認識いただき実施すること。		

12-02-000001				担当組織 地域整備課 除雪センターグループ				事業費		61,951円	
チェーン脱着所管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 8土木費		項 2道路橋梁費		目 5除雪費	
事業概要	対象	借り上げ物件。		意図	目的達成のため借用し使用する。			手段	脱着所3件の借り上げ		
		借り上げ件数	平成24年度 4 平成25年度 3 単位 箇所			借り上げ件数	平成24年度 4 平成25年度 3 単位 箇所			借り上げ件数	平成24年度 4 平成25年度 3 単位 箇所
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト	
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果	削減 維持 増加
全体総括	現状維持。			今後の改革改善案	現状維持			課題とその解決策	現状維持		

12-02-000002				担当組織 地域整備課 建設グループ				事業費		円	
気象観測システム管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 8土木費		項 2土木管理費		目 2土木総務費	
事業概要	対象	町道利用者が閲覧するホームページの利用者		意図	観測局の設置箇所数を増設することにより、より住民に適した観測を行うことができホームページのアクセス件数の増加が見込まれる。			手段	気象観測を行う観測局の設置工事		
		ホームページアクセス件数(12-3月)	平成24年度 11,276 平成25年度 件/月			観測局設置箇所数	平成24年度 13 平成25年度 箇所			観測局設置工事件数	平成24年度 13 平成25年度 件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト	
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果	削減 維持 増加
全体総括	平成25年度において観測局の設置工事が13箇所完了した。今後も観測局の設置箇所を増やせばより多くのアクセス数も増大する事が見込まれるが事業費に対するアクセスがあるかは想定できない。次年度より気象装置等の維持管理を行うだけであれば、成果を下げずに事業費を削減できる。			今後の改革改善案	今年度設置した観測局数で数年間運用し、観測が必要な箇所があれば、随時増設していくことが効果的に事業を進めることができると思う。			課題とその解決策	管理面積の広いみなかみ町では、全体的に気象観測をする事が非常に困難であると思う。観測局毎に維持管理費用がかかるため、なるべく少ない設置箇所が望まれる。		